

委員会審議		令和6年4月15日
申請者	呼吸器内科医師	荒井 直樹
1	間質性肺疾患に対するニンテダニブ治療実態調査：多施設後方視研究	
研究の概要	<p>概要</p> <p>(1) 目的 多施設後方視調査を実施し間質性肺疾患に対するニンテダニブ治療の現況を把握する。</p> <p>(2) 対象及び方法 本研究で対象となる患者は、特発性間質性肺炎や膠原病関連肺線維症など間質性肺疾患に対してニンテダニブが治療薬として投与された患者である。ニンテダニブは診療に供されるようになった2015年8月から2023年12月までの間に投与された患者とする。間質性肺疾患は特発性間質性肺炎のみではなく膠原病関連肺線維症例も含め、実際にニンテダニブが投与された全症例を調査する。特発性間質性肺炎や膠原病関連肺線維症などをすべて含み、それら疾患ごとに取りまとめて有用性や予後、副作用を評価する。</p> <p>・選択基準 ニンテダニブが投与された間質性肺疾患症例全症例。基礎となる疾患については問わない。それらの疾患ごとに評価を実施する。ニンテダニブ投与前にすでに肺癌を合併していた症例についても調査に含める。</p> <p>(3) 実施場所及び実施期間 実施場所：茨城東病院 319-1113 茨城県那珂郡東海村照沼825 症例集積期間：2023年12月1日から2024年5月31日 解析期間：2024年6月1日～2024年7月31日 総研究期間：倫理委員会承認日～2024年12月31日</p>	
判定	承認	本審査は全員一致で承認された